

平成 25 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 26 年 6 月

いじめ・不登校総合対策センター

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2～7 頁
7	決算調書（総括表）	8 頁
8	事業別実施状況調べ	8 頁
9	予備費の充用調べ	8 頁
10	繰越関係調べ	8 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	8 頁
12	収入事務処理状況調べ	8 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	8 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	9 頁
16	債務負担行為の状況調べ	9 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	10 頁
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	11 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの）	11 頁
19	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	

21	借受不動産明細調べ	12頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	12頁
24	寄附物件の受納状況調べ	12頁
25	備品の処分状況調べ	12頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12頁
27	貸付金等状況調べ	12頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
28	いじめについての連携・支援の流れ	13頁
29	県内のいじめの認知件数	13頁
30	いじめの解消状況(平成24年度)	13頁
31	当センターへのいじめ相談の対応	13頁
32	不登校についての連携・支援の流れ	14頁
33	不登校児童生徒数	14頁
34	不登校児童生徒の変容状況	14頁
35	当センターへの不登校相談の対応	14頁
36	ハートフルスペースの利用状況	15頁
○	意見、要望等	15頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
	指導担当	1 いじめ・不登校対策の総括及び企画立案 2 いじめ・不登校についての相談 3 いじめ・不登校対策を行う学校に対する支援 4 いじめ・不登校についての研修
	総務担当	1 センターの事務の総合調整 2 会計、庶務

4 職員の定員、現員調べ

(平成26年4月1日現在)

種 別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	
定 員	3	3	—	—	—	—	3	3	
現 員	3	3	—	—	—	—	3	3	
過不足(△)	0	0	—	—	—	—	0	0	
臨時職員	0	0	—	—	—	—	0	0	
非常勤職員	5	4	—	—	—	—	5	4	指導員2、カウンセラー1、ソーシャルワーカー1、事務補助1

5 役付職員の調べ

(平成26年6月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
センター長	松岡 一	1	2	
参事	(併) 福本 慎一	1	2	出納員 教育センター副所長兼総務課長
課長補佐	(併) 北村 徹	1	2	教育センター課長補佐

事業名	概	要									
<p>いじめ・不登校総合対策センター設置事業</p> <p>決算見込額 6,025千円 (財源内訳) 一般財源 6,025千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 鳥取県教育委員会として、「いじめや不登校のない、魅力ある学校づくり」を目指して、1～3次対応に区分しいじめ対策を、未然防止・再登校に区分し不登校対策を推進してきた。 平成25年度に、いじめ・不登校総合対策センターを設置し、関係部局・課等との連携を図りながら、対策を推進する。いじめに関しては、特に1次、2次対応を重点とした。不登校については、課題について調査・分析した。</p> <p>○平成26年度いじめ問題への取組</p> <table border="1" data-bbox="475 609 1481 810"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 609 880 689"><第1次対応></th> <th data-bbox="880 609 1161 689"><第2次対応></th> <th data-bbox="1161 609 1481 689"><第3次対応></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 689 880 810">【いじめを許さない地域・学校文化、学級づくり】</td> <td data-bbox="880 689 1161 810">【いじめの早期発見・早期対応】</td> <td data-bbox="1161 689 1481 810">【事案が発生した場合の迅速で誠意ある対応】</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="475 810 880 891">いじめの未然防止を目的とした対応</td> <td data-bbox="880 810 1481 891">いじめが発生した後の対応</td> </tr> </tbody> </table> <p>「鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針」</p> <p>「鳥取県いじめ防止対策ガイドブック」 対セ</p> <p>いじめ問題対策連絡協議会 県の機関・市町村・学校・法務局等関係機関・団体 ※</p> <p>いじめ防止対策推進法を踏まえた研修 教セ 対セ</p> <p>ケータイ・インターネット教育啓発推進事業 (講師派遣/ネットパトロール) 社務</p> <p>相談窓口周知(9777) 対セ</p> <p>24時間いじめ相談体制 対セ 県署 人権局</p> <p>ネットいじめ学校指導指導者研修 対セ</p> <p>いじめ相談窓口関係機関連絡会議 対セ 他</p> <p>いじめ問題支援事業(心理検査活用) 園</p> <p>心の育み支援事業(心理検査活用) 園</p> <p>心理検査に関する研修指導 主宰派遣 対セ・教セ・園</p> <p>生活につながる人権教育創造事業 人教</p> <p>いじめの芽をつむ心のケア事業 体保</p> <p>スクールカウンセラーの配置 小中・園・特</p> <p>めざすもの</p> <p>【いじめのない、魅力ある学校づくり】</p> <p>児童生徒の自主判断・行動の推進</p> <p>「明日へつなぐ心のキャンペーン」 対セ</p> <p>こども未来フォーラム 対セ</p>	<第1次対応>	<第2次対応>	<第3次対応>	【いじめを許さない地域・学校文化、学級づくり】	【いじめの早期発見・早期対応】	【事案が発生した場合の迅速で誠意ある対応】	いじめの未然防止を目的とした対応		いじめが発生した後の対応	<p>鳥取県いじめ問題 検証委員会 人権局</p> <p>子どもの悩みサポート チーム派遣事業 園</p> <p>いじめ・不登校総合対策センター 小中学校課 高等学校課 特別支援教育課 入権教育課 社会教育課 体育保健課 教育総務課 教育センター 教育局</p>
<第1次対応>	<第2次対応>	<第3次対応>									
【いじめを許さない地域・学校文化、学級づくり】	【いじめの早期発見・早期対応】	【事案が発生した場合の迅速で誠意ある対応】									
いじめの未然防止を目的とした対応		いじめが発生した後の対応									

事業名	概	要																																										
	<p>○平成26年度不登校問題への取組</p> <table border="1" data-bbox="470 219 1481 1429"> <thead> <tr> <th data-bbox="470 219 970 257">未然防止</th> <th data-bbox="970 219 1481 257">再登校支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="470 257 970 353"> <p>心とからだ いきいきキャンペーン 健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活習慣の定着を図る </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 353 970 481"> <p>定通教育充実事業 健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動、体験活動の充実 ・コミュニケーション能力の育成 </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 481 970 577"> <p>生活につながる人権教育総合事業 人教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未然防止に資する人権教育の支援及び普及 </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 577 970 638"> <p>心の育み支援事業 健 ・hyper-QUの活用</p> </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 638 970 698"> <p>いじめ問題支援事業 健 ・hyper-QUの活用</p> </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 698 1481 761"> <p>スクールカウンセラーの配置 健 小中 高</p> </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 761 1481 936"> <p>不登校対策事業 小中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校相談員の配置 ・不登校対応教員の配置 ・児童生徒の自立支援サポート事業 ・市町村教育支援センターを中心としたネットワークの構築 </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 936 1481 996"> <p>スクールソーシャルワーカーの配置 高</p> </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 996 1481 1057"> <p>スクールソーシャルワーカー活用事業 小中</p> </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 1057 1481 1184"> <p>船上山少年自然の家事業 社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校等の課題に対応した体験プログラムの実施 </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 1184 1481 1281"> <p>高等学校等における不登校(傾向)生徒等支援事業 対せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センターの運営 </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="470 1281 1481 1429"> <p>教育相談事業 対せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導室等、相談員による教育相談 ・専門医による教育相談会 </td> <td data-bbox="970 257 1481 1429"></td> </tr> </tbody> </table>	未然防止	再登校支援	<p>心とからだ いきいきキャンペーン 健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活習慣の定着を図る 		<p>定通教育充実事業 健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動、体験活動の充実 ・コミュニケーション能力の育成 		<p>生活につながる人権教育総合事業 人教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未然防止に資する人権教育の支援及び普及 		<p>心の育み支援事業 健 ・hyper-QUの活用</p>		<p>いじめ問題支援事業 健 ・hyper-QUの活用</p>		<p>スクールカウンセラーの配置 健 小中 高</p>		<p>不登校対策事業 小中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校相談員の配置 ・不登校対応教員の配置 ・児童生徒の自立支援サポート事業 ・市町村教育支援センターを中心としたネットワークの構築 		<p>スクールソーシャルワーカーの配置 高</p>		<p>スクールソーシャルワーカー活用事業 小中</p>		<p>船上山少年自然の家事業 社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校等の課題に対応した体験プログラムの実施 		<p>高等学校等における不登校(傾向)生徒等支援事業 対せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センターの運営 		<p>教育相談事業 対せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導室等、相談員による教育相談 ・専門医による教育相談会 		<table border="1" data-bbox="1141 1429 1481 1713"> <tbody> <tr> <td>対せ</td> <td>いじめ・不登校総合対策センター</td> </tr> <tr> <td>小中</td> <td>小中学校課</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>高等学校課</td> </tr> <tr> <td>健</td> <td>特別支援教育課</td> </tr> <tr> <td>人教</td> <td>人権教育課</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>社会教育課</td> </tr> <tr> <td>健</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>対せ</td> <td>教育センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○「いじめ・不登校対策本部会議」の開催(年4回)</p> <p>目的: いじめ、不登校問題の対策について協議し、その改善と未然防止を図る。</p> <p>構成: 県教育委員会事務局 教育長、教育次長、次長、教育局長、関係課長等</p> <p>【第1回 8月8日(金)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の不登校の状況 ・「いじめ防止対策推進法」への対応 <p>【第2回 9月3日(火)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の動向と今後の取組 ・不登校・長期欠席児童生徒の背景と対策 	対せ	いじめ・不登校総合対策センター	小中	小中学校課	高	高等学校課	健	特別支援教育課	人教	人権教育課	社会	社会教育課	健	教育総務課	対せ	教育センター
未然防止	再登校支援																																											
<p>心とからだ いきいきキャンペーン 健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活習慣の定着を図る 																																												
<p>定通教育充実事業 健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動、体験活動の充実 ・コミュニケーション能力の育成 																																												
<p>生活につながる人権教育総合事業 人教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未然防止に資する人権教育の支援及び普及 																																												
<p>心の育み支援事業 健 ・hyper-QUの活用</p>																																												
<p>いじめ問題支援事業 健 ・hyper-QUの活用</p>																																												
<p>スクールカウンセラーの配置 健 小中 高</p>																																												
<p>不登校対策事業 小中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校相談員の配置 ・不登校対応教員の配置 ・児童生徒の自立支援サポート事業 ・市町村教育支援センターを中心としたネットワークの構築 																																												
<p>スクールソーシャルワーカーの配置 高</p>																																												
<p>スクールソーシャルワーカー活用事業 小中</p>																																												
<p>船上山少年自然の家事業 社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校等の課題に対応した体験プログラムの実施 																																												
<p>高等学校等における不登校(傾向)生徒等支援事業 対せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センターの運営 																																												
<p>教育相談事業 対せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導室等、相談員による教育相談 ・専門医による教育相談会 																																												
対せ	いじめ・不登校総合対策センター																																											
小中	小中学校課																																											
高	高等学校課																																											
健	特別支援教育課																																											
人教	人権教育課																																											
社会	社会教育課																																											
健	教育総務課																																											
対せ	教育センター																																											

事業名	概要
	<p>【第3回 11月20日(水)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省説明会の概要 ・いじめ問題 ・不登校問題 <p>【第4回 3月24日(月)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県いじめの防止等のための基本的方針 ・不登校の状況について <p>○担当指導主事連絡会の開催(年4回)</p> <p>関係課、教育局担当者との情報交換・協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の調査・分析 ・推進法の共通理解、ガイドブックの作成 <p>○スーパーバイザーの委嘱</p> <p>群馬県高崎市飯野眞幸教育長を委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県基本方針、ガイドブックに対する助言 ・「いじめのない学校づくりのために」研修会 2月7日(金) <p>○「いじめ防止対策推進法への対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県」いじめ防止等に関する基本的な方針」の策定 ・「鳥取県いじめ防止対策ガイドブック」作成 ・「いじめ防止対策推進法」に関わる説明会 12月3日(火) 市町村教育委員会、県立・私立・国立学校を対象 <p>○「いじめ問題シンポジウム」の開催 8月3日(土) 米子市文化ホール 内藤大助氏のトークショー、生徒・関係者のパネルディスカッション</p> <p>○「明日へつなぐ心のキャンペーン」</p> <p>子どもたちの取組を促すためにメッセージとともに、希望する園、学校にCD、缶バッジを送付</p> <p>イ 平成25年度の事業に当たり改善等に取り組んだ点 平成25年度新設</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで各課で取り組んできたことを「いじめ・不登校対策本部会議」で総括し、鳥取県のいじめ・不登校問題に対する課題を明確にして、これまで以上に、体系的な対策が立てられるようになった。 ・スーパーバイザーの飯野教育長に、県の基本方針やガイドブック作成への助言、今後の取組への示唆をいただくことができた。 ・「いじめ問題シンポジウム」を開催することによって、小学生から高齢者まで幅広い年代層の来場者(約400人)の参加を得ることができ、いじめを生まない学校、地域づくりのための意欲づけにつながった。 ・「ともだちのうた」CD配布 237枚(幼保224、小14、中2、他1) 缶バッジ 7、291個(幼保38、小14、中3、特支2、他1) <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ・不登校対策本部会議」と「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」との関係性や役割を明確にして開催し、より適切な協議等ができるように検討する。 ・いじめをなくすための子どもたちの自主的な取組を支援するために、キャンペーンを展開したが、より自主的な取組とするための工夫が必要である。 <p>※ 鳥取県いじめ問題対策連絡協議会</p> <p>目的：いじめの防止等に関係する機関及び団体の関係者により構成される連絡協議会を置き、これらの機関・団体の連携により、県内のいじめの問題の防止等の対策の推進を図る。</p> <p>構成：県小学校長会 県中学校長会 県高等学校長協会 県特別支援学校長会 私立中学高等学校長会 県PTA協議会 県高等学校PTA連合会 県特別支援学校PTA連合会 県警察本部 鳥取地方法務局 県医師会 県弁護士会 県臨床心理士会 都市教育町会 町村教育長会 県人権局 県教育・学術振興課 児童相談所 県教育委員会</p>

事業名	概	要																													
いじめ相談窓口 充実事業 決算見込額 8,309千円 一般財源 5,540千円 その他 2,769千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>いじめられている子どもも、いじめを発見した子どもも相談しやすい環境の充実を図るとともに、いじめ相談に関わる部署が日常的に情報を交換・共有しながら、迅速な対応を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="406 432 1497 786"> <tr> <td data-bbox="406 432 758 589">夜間・休日いじめ相談業務外部委託</td> <td data-bbox="758 432 1497 589"> ○「いじめ110番」「いじめ相談専用メール」の夜間・休日の対応に限り、専門性・実績を有する県内の団体への業務委託により実施 ○委託先との連絡会議の開催（毎月） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 589 758 707">相談窓口の広報・周知</td> <td data-bbox="758 589 1497 707"> ○県内の全児童生徒に向けて「相談窓口カード」の配布（8月中旬） ○他課や他部局の広報に相談窓口の情報を掲載 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 707 758 786">連絡会議・研修会の開催</td> <td data-bbox="758 707 1497 786"> ○相談窓口関係機関連絡会議の開催（5月、12月）※12月は研修会も兼ねて開催 </td> </tr> </table> <p>※相談窓口関係機関連絡会議</p> <p>目的：いじめ相談に関わる機関が情報交換・共有し、対策等の協議を行い、早期の課題解決を図る。</p> <p>構成：県警察本部、知事部局（人権担当部局、児童相談所所管課、私学担当課）、県教育委員会事務局関係課</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>○相談窓口カードのデザインを工夫し、特に児童に親しみやすいカードを作成し、配布した。</p> <p>○年2回開催する連絡会議の2回目に研修会を併せて実施した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>○平成24年11月から、休日・夜間の相談電話・メール対応を民間委託したが、委託先と日常的に情報交換するなど連携しながら相談対応できている。相談への助言を通して「問題が好転した」と報告をいただくケースもあった。</p> <p>○様々な場面や機会を捉えて周知・広報した結果、昨年度よりも相談件数が増加した。</p> <p>【電話相談件数】</p> <table border="1" data-bbox="435 1507 1382 1709"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>いじめ相談</th> <th>その他の相談</th> <th>いたずら・不明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>H24合計</td> <td>59</td> <td>65</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H25</td> <td>対策センター</td> <td>64</td> <td>41</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>委託先</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>H25合計</td> <td>85</td> <td>67</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>○連絡会議に教育委員会事務局外の関係課に加わっていただき、他機関の相談電話の運用が理解でき、日常の連携も深まった。</p> <p>エ 課題</p> <p>○相談電話・メールにおける緊急対応の必要な場合について、課題を整理し、関係課・機関等に周知しておく必要がある。</p> <p>○相談窓口関係機関連絡会議について、「いじめ防止対策推進法」に基づく「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」との整理を踏まえ、それぞれに参加する機関について検討が必要である。</p>	夜間・休日いじめ相談業務外部委託	○「いじめ110番」「いじめ相談専用メール」の夜間・休日の対応に限り、専門性・実績を有する県内の団体への業務委託により実施 ○委託先との連絡会議の開催（毎月）	相談窓口の広報・周知	○県内の全児童生徒に向けて「相談窓口カード」の配布（8月中旬） ○他課や他部局の広報に相談窓口の情報を掲載	連絡会議・研修会の開催	○相談窓口関係機関連絡会議の開催（5月、12月）※12月は研修会も兼ねて開催			いじめ相談	その他の相談	いたずら・不明	H24	H24合計	59	65	56	H25	対策センター	64	41	14	委託先	21	26	38	H25合計	85	67	52	
夜間・休日いじめ相談業務外部委託	○「いじめ110番」「いじめ相談専用メール」の夜間・休日の対応に限り、専門性・実績を有する県内の団体への業務委託により実施 ○委託先との連絡会議の開催（毎月）																														
相談窓口の広報・周知	○県内の全児童生徒に向けて「相談窓口カード」の配布（8月中旬） ○他課や他部局の広報に相談窓口の情報を掲載																														
連絡会議・研修会の開催	○相談窓口関係機関連絡会議の開催（5月、12月）※12月は研修会も兼ねて開催																														
		いじめ相談	その他の相談	いたずら・不明																											
H24	H24合計	59	65	56																											
H25	対策センター	64	41	14																											
	委託先	21	26	38																											
	H25合計	85	67	52																											

事業名	概要
<p>高等学校等における不登校（傾向）生徒等支援事業</p> <p>決算見込額 8,844千円 （財源内訳） 一般財源 8,844千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む （1）すこやか子育て</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（1）目的 高等学校等における不登校（傾向）や概ね20歳くらいまでのひきこもりの青少年を、学校復帰や社会参加に向けて支援する。また、高校生の不登校や中途退学の未然防止の観点から、学校生活になじみにくい生徒等の実態把握の方法を普及し、早期発見・早期対応を図る。</p> <p>（2）事業の実施状況</p> <p>○教育支援センター「ハートフルスペース」の運営 高校生及び概ね20歳くらいまでの青少年で、不登校やひきこもりの者を対象とした教育支援センター「ハートフルスペース」を設置し、適応指導や心理相談、進路支援、保護者支援等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員が、相談者の状況に応じた指導・支援を行った。 ・カウンセラー（臨床心理士）が本人や保護者等の心理相談を実施した。 ・ソーシャルワーカーが進路相談や福祉就労等移行支援を行った。 ・週1回のスタッフ会議で情報共有と支援の方向性を確認しながら進めた。 ・本人、保護者を含めた支援会議を実施し、今後の支援方針を話し合った。 ・保護者との個別懇談を年2回実施し、指導・支援の連携を図った。 ・事業の充実を図る目的から連絡協議会を年2回実施した。 ・通信「ピリープ」を年3回発行した。 <p>○学校不適應生徒等の実態を把握する方法を普及する取組の充実 不登校や中途退学の未然防止の観点から、学校不適應生徒等の実態を把握する方法を普及した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」（hyper-Q U）等に関する校内研修会等での指導・助言を行った。 <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>（1）スタッフそれぞれの専門性を活かす教育支援センターの運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回のスタッフ会議で利用者の情報共有をていねいに行った。 ・ひきこもり状態の厳しい相談者に対するソーシャルワーカーによる訪問相談、手紙による情報提供、家族支援を行った。 <p>（2）「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」（hyper-Q U）の活用方法の普及のために、学校との事前の打ち合わせを行い、学校のニーズに対応する校内研修会や事例検討会にするよう努めた。教育センター教育相談課とも協力しながら研修会の持ち方を工夫した。</p>

事業名	概要															
	<p>ウ 成果</p> <p>(1) 教育支援センター「ハートフルスペース」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の充実に努め、利用者を指導・支援することができた。 * 利用状況 (指導員・カウンセラー・ソーシャルワーカー) <table border="1" data-bbox="587 349 1279 465"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ相談回数</td> <td>1106</td> <td>1530</td> <td>2017</td> <td>1829</td> </tr> <tr> <td>利用人数</td> <td>82(13)</td> <td>66(20)</td> <td>62(17)</td> <td>42(12)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> * () 内は、入室届を提出して利用した者 <H26.3月末現在> ・利用者に学校復帰や社会参加に向けた変化が見られた。 <ul style="list-style-type: none"> * 学校復帰、転学、高卒認定試験の合格、専門学校進学 等 * 就労支援機関へのつながり、就労体験、アルバイト就労 等 * 指導員との交流の促進、集団活動への参加 等 * 医療機関等の専門機関につながり、状況が改善 等 ・3月には、次へのステップに進むことができた1名の退室式を行 ・今年度は、市町村の教育支援センターからつながってくる者、高校へ進学したが、退学してつながってくる者等高校1年生・2年生年代の利用が増えた。 ・年2回の連絡協議会(9・2月)を実施し、対応の困難事例について様々な角度から検討し、状況の改善に役立てることができた。 <p>(2) 学校不適応生徒等の実態を把握する方法を普及する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校課の「子どもたちの社会性を育む事業」、高等学校課の「高等学校における発達障がいのある生徒等支援事業」と連携をして研修会に協力した。 ・「Q-U」「hyper-QU」についての教職員研修を実施し、その見方や活用の仕方について理解が深まった。 ・支援した学校数…小学校16(3)中学校7(2)高等学校7(2) * () は教育センター教育相談課と協力した数 <p>エ 課題</p> <p>(1) ハートフルスペースの利用者は、背景が厳しい状況の者が多いためタフの研修機会を保障していく必要がある。</p> <p>(2) 「Q-U」や「hyper-QU」についての職員研修は、学校で自立して取り組む方向性の支援とし、学校の取組の様子によって対応を変えていく必要がある。</p>	年度	H22	H23	H24	H25	延べ相談回数	1106	1530	2017	1829	利用人数	82(13)	66(20)	62(17)	42(12)
年度	H22	H23	H24	H25												
延べ相談回数	1106	1530	2017	1829												
利用人数	82(13)	66(20)	62(17)	42(12)												

7	決算調書	別途提出
8	事業別実施状況調べ	別途提出
9	予備費の充用調べ	別途提出
10	繰越関係調べ	
	(1) 継続費通次繰越調べ	別途提出
	(2) 繰越明許費調べ	別途提出
	(3) 事故繰越調べ	別途提出
11	収入証紙取扱額調べ	該当なし
12	収入事務処理状況調べ	
	(1) 分担金及び負担金	該当なし
	(2) 使用料	該当なし
	(3) 手数料	該当なし
	(4) 財産収入	該当なし
	(5) 寄付金	該当なし
	(6) 諸収入	該当なし
	(7) 現金の取扱状況	
	ア 現金取扱状況	該当なし
	イ つり銭の状況	該当なし
13	税外収入未済額調べ	該当なし
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし

16 債務負担行為の状況調べ 該当なし

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金 該当なし

(2) 補助金 該当なし

(2-2) 補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの) 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(単位：円)

(4) 委託料

予算科目 (目)	国単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付年月日) 契約形態	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
教育センター費	国補 1/3	夜間・休日のいじめに関する電話・メール相談対応業務委託	(福)鳥取こども学園	7,607,584	(25.4.1) 7,607,584	25.4.1~ 26.3.31	25.3.28 (免除)		概	25.5.27 外	7,607,584	本業務を行えるのは、県内ではこども学園しかないため
教育センター費	県費	「いじめ問題」シンポジウムの企画、運営等業務委託	(株)山陰放送	3,000,000	(25.7.12) 3,000,000	25.7.12~ 25.10.31	25.7.4 (免除)	25.10.31	精	25.12.4	3,000,000	新規公募型プロポーザル方式による
予定価格が20万円未満のもの											0	
目計											10,607,584	
合計											10,607,584	

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)

該当なし

- 18 工事請負費調べ 該当なし
- 18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの） 該当なし
- 19 財産に関する調べ
- (1) 公有財産
- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
- (ア) 異動状況 該当なし
- (イ) 出願及び登録の状況 該当なし
- (ウ) 活用の状況 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利 該当なし
- (2) 金券類の受払状況
- ア 金券の受払状況 該当なし
- イ タクシーチケットの受払状況 該当なし
- (3) 基金 該当なし
- (4) 債権 該当なし

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの） 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ 該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

27 貸付金等状況調べ

(1) 総括表 該当なし

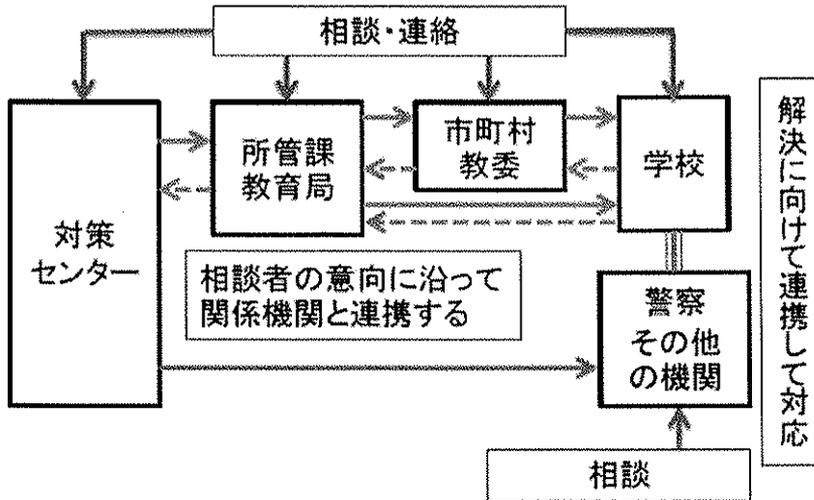
(2) 償還状況 該当なし

いじめ・不登校総合対策センター(定期監査調書の個別様式)

○本庁化機関共通様式に、個別調査事項(「28 いじめについての連携・支援の流れ」から「36 ハートフルスペースの利用状況」まで)を追加すること。

28 いじめについての連携・支援の流れ

(当センターや学校、関係機関に相談があった場合、各機関はどのように連携して支援を行っているか、流れ図等で記載すること。)



29 県内のいじめの認知件数

(単位:件)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
小学校	12	13	21	132	47
中学校	40	45	31	147	64
高等学校	21	8	24	24	-
特別支援学校	10	2	2	10	-
計	83	68	78	313	-
発生件数/千人(県)	1.2	1.0	1.2	4.8	-
発生件数/千人(全国)	5.1	5.5	5.5	14.3	-

※1 H21~H24は文部科学省調査による国・公・私立の確定値

※2 H25は独自調査による速報値(平成26年2月28日現在) 公立小・中学校のみ

30 いじめの解消状況(平成24年度)

(単位:件) 公立学校のみ

区分	解消している	一定の解消が図られたが継続支援中	解消に向けて取組中	他校への転学、退学等	計
小学校	121	10	0	0	131
中学校	127	13	0	4	144
高等学校	15	2	0	0	17
特別支援学校	9	1	0	0	10
計	272	26	0	4	302

31 当センターへのいじめ相談の対応

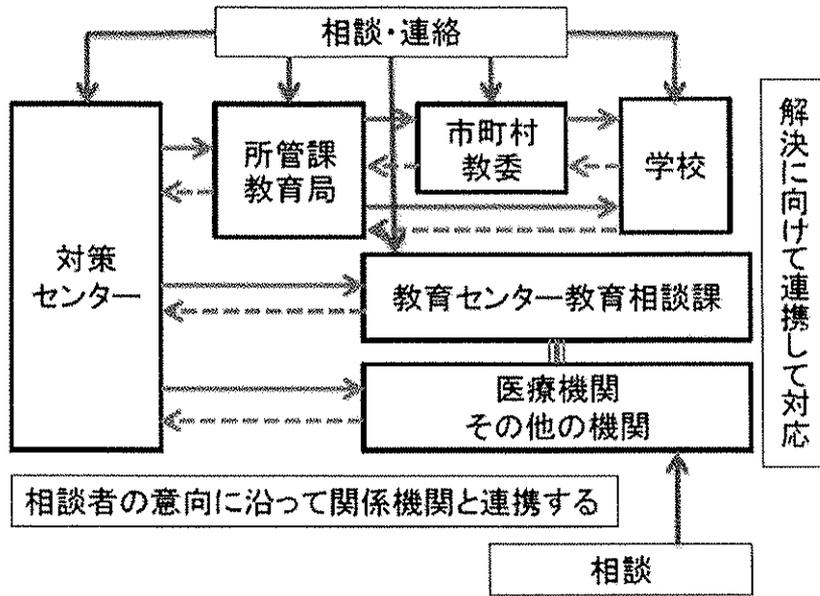
(平成25年度)

(単位:回) 平成26年3月31日現在

相談方法	校種等							(a)のうち相談のみ	(a)のうち関係機関と連携	(a)のうち他機関に紹介
	小	中	高	特支	その他	不明	計(a)			
電話	34	22	15	0	10	4	85	47	36	2
メール	4	11	15	0	1	7	38	18	20	0
来所	5	1	1	0	0	0	7	1	6	0
合計	43	34	31	0	11	11	130	66	62	2

32 不登校についての連携・支援の流れ

(当センターや学校に相談があった場合、各機関はどのように連携して支援を行っているか、流れ図等で記載すること。)



33 不登校児童生徒数

(単位:件)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
小学校	117	109	109	119	118
中学校	490	526	477	379	362
小中計	607	635	586	498	480
不登校児童生徒数/千人(県)	12.1	12.9	12.0	10.3	
不登校児童生徒数/千人(全国)	11.5	11.3	11.2	10.9	
高等学校	247	263	288	328	
不登校生徒数/千人(県)	14.5	15.5	17.5	20.3	
不登校生徒数/千人(全国)	15.5	16.6	16.8	17.2	

※1 H21～H24は文部科学省調査による国・公・私立の確定値

※2 H25は独自調査による速報値(平成26年2月28日現在)

公立小・中学校のみ

34 不登校児童生徒の変容状況(平成25年度)

(単位:件)

平成26年2月28日現在

区分	継続的に登校する(a)	断続的に登校する(b)	登校にチャレンジする(c)	a～cほどではないが、変容が見られる	再登校のきざしが見られない	計
小学校	35	29	13	19	22	118
中学校	95	92	34	39	102	362
高等学校	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-

35 当センターへの不登校相談の対応

(平成25年度)

(単位:回)平成26年3月31日現在

相談方法	校種等							(a)のうち相談のみ	(a)のうち関係機関と連携	(a)のうち他機関に紹介
	小	中	高	特支	その他	不明	計(a)			
電話	5	2	5	1	0	0	13	4	5	4
メール	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0
来所	7	0	1	0	0	0	8	7	1	0
合計	12	3	6	1	0	0	22	12	6	4

36 ハートフルスペースの利用状況

<指導員対応> (平成25年度) (単位:件、回) 平成26年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通 室	件数	14	12	10	11	6	9	7	7	6	9	7	9	107
	回数	58	68	61	92	80	78	85	82	67	77	78	85	911
家庭訪問	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関 訪 問	件数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	回数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
電話相談	件数	4	7	2	5	5	4	4	8	1	2	3	3	48
	回数	8	11	6	5	6	5	4	11	1	2	4	3	66
来所相談	件数	2	0	7	4	2	0	0	6	0	0	5	3	29
	回数	2	0	7	6	2	0	0	8	0	0	5	3	33
総利用件数	件数	17	15	13	14	10	11	9	12	6	10	10	10	

<ソーシャルワーカー対応…週8時間> (平成25年度) (単位:件、回) 平成26年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所相談	件数	6	8	7	8	7	5	5	8	5	7	6	8	80
	回数	14	23	22	29	26	23	22	20	19	26	30	22	276
家庭訪問	件数	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	1	1	7
	回数	0	0	1	0	0	0	0	2	4	5	4	1	17
関係機関 訪 問	件数	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	6
	回数	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	6
電話相談	件数	1	2	0	1	1	0	1	1	2	4	3	2	18
	回数	1	5	0	1	1	0	1	2	4	5	3	2	25
総利用件数	件数	6	10	7	8	8	5	5	9	7	9	9	8	

<カウンセラー対応…週8時間> (平成25年度) (単位:件、回) 平成26年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所相談	件数	6	13	13	11	9	8	10	8	6	8	8	8	108
	回数	26	34	39	45	41	42	55	39	31	37	34	27	450
訪問相談	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
電話相談	件数	0	3	2	3	6	5	3	2	2	0	1	0	27
	回数	0	6	3	5	8	6	5	3	2	0	2	0	40
総利用件数	件数	6	14	10	13	11	10	11	9	6	8	8	8	

※件数は実件数、回数は延回数。

○意見、要望等

(1)業務に関する意見・要望等 なし

(2)監査委員事務局に対する要望等 なし

7 決算調書
(総括表)
一般会計

(単位:円)

区分	科目	予 算 額			現 額			決算額 B	翌 年 繰 越 額 C	差引増減額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費及 び予支流出用増減 額	継続事業費及 び予支流出用増減 額	計 A					
	教育センター費	23,178,000	△ 1,020,000			22,158,000	19,406,760		2,751,240		
歳						0			0		
出						0			0		
						0			0		
						0			0		
						0			0		
	合 計	23,178,000	△ 1,020,000	0	0	22,158,000	19,406,760	0	2,751,240		
	国庫支出金	2,769,000				2,769,000	2,637,000		132,000		
同	諸 収 入	27,000				27,000	22,467		4,533		
上						0			0		
財						0			0		
源						0			0		
内						0			0		
記	合 計	2,796,000	0	0	0	2,796,000	2,659,467	0	136,533		
	一般県費充当	20,382,000	△ 1,020,000	0	0	19,362,000	16,747,293	0	2,614,707		
	合 計	23,178,000	△ 1,020,000	0	0	22,158,000	19,406,760	0	2,751,240		

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(教育センター費)					
(主) いじめ・不登校総合対策センター設置事業	5,005,000	4,623,754		381,246	
(主) いじめ相談窓口充実事業	8,309,000	7,935,989		373,011	
(主) 高等学校等における不登校(傾向)生徒等支援事業	8,844,000	6,847,017		1,996,983	
目 計	22,158,000	19,406,760	0	2,751,240	
合 計	22,158,000	19,406,760	0	2,751,240	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 継続費逐次繰越調べ 該当なし

(2) 繰越明許費調べ 該当なし

(3) 事故繰越調べ 該当なし